

医療機関等における必要医師数調査について（概要）

I 医療機関等における必要医師数調査について

1. 調査の目的

宮城県、学校法人東北医科薬科大学及び一般社団法人東北地域医療支援機構では、これからの地域医療における医師定着策の検討、特に宮城県卒の卒後医師の配置に係る具体的な仕組みについて現実に即した検討を行うため、県内医療機関等における必要医師数及び総合診療医に対するニーズに関する調査を共同で実施した。

2. 調査の基準日

平成28年8月1日現在

3. 調査の対象

宮城県が取りまとめて公表している「宮城県内の医療機関（病院・診療所）名簿（平成28年4月1日現在）」に記載されている医療機関のうち病院、有床診療所、自治体が設置する無床診療所（303施設）

4. 調査方法

対象となる医療機関に郵送によるアンケートを実施した。

5. 回答状況

医療施設区分	調査対象医療機関数 A	回答のあった医療機関数 B	回答率 (B/A)
病院	139 施設	119 施設	85.6%
有床診療所	142 施設	75 施設	52.8%
自治体が設置する無床診療所	22 施設	18 施設	81.8%
合計	303 施設	212 施設	70.0%

II 調査結果

1. 現在必要医師数の状況

回答のあった医療機関全体の現在必要医師数の状況は、現員医師数3,159.9人、必要医師数733.1人、合計3,893.0人であった。また、現在必要医師数に対する現員医師数の割合（充足割合）は、81.2%であった。

現員医師数のうち、正規雇用医師数は2,437.0人、短時間正規雇用医師数は139.1人、非常勤常勤換算医師数は583.8人であった。また、必要医師数のうち、正規雇用医師数は563.5人、短時間正規雇用医師数は68.0人、非常勤常勤換算医師数は101.6人であった

2. 5年後医師数の状況

回答があった医療機関のうち、「5年後医師数」の回答があった医療機関の「5年後医師数」の合計は2,684.6人で、現員医師数2,299.9人と比べ、384.7人増加し、その増加率は16.7%であった。

Ⅲ 地域の医療ニーズ及び総合診療医に関するアンケートの状況

本調査の対象とした医療機関に対して必要医師数のほか、医療機関が所在する市町村における医療ニーズや総合診療医に関するアンケート調査を行った。調査結果の概要については次のとおり。

1. 今後、医療機関が所在する市町村でさらに需要が増す診療科・医療について

本調査の対象とした医療機関に対して所在する市町村内で需用が増す診療科・医療について自由に意見を記入いただいたところ、内科や地域の高齢化に伴う医療ニーズ（精神科、整形外科、在宅医療）が増えるとの意見が多くみられた。

2. 総合診療医について

本調査の対象とした医療機関に対して5年後に必要とする総合診療医の人数及び期待する役割について記入いただいたところ、5年後に必要とする総合診療医数は200人程度であった。期待する役割については、高齢者医療、在宅医療及び、特定しにくい内科系の疾患をはじめ、内科を総合的に見られる診療能力を期待する意見がみられた。また、地域包括ケアの中核を担うことや、専門医への橋渡し役、地域開業医の後方支援など地域の医療提供体制におけるつなぎ役を期待する意見も見られた。一方で、都市部では開業医と病院の連携を密にすることにより、救急医以外の総合診療医の必要性を感じないとの意見もあった。